

自然資本を保全する取り組み

私たちの生活は、土、空気、水、そしてそれらが育む動物、植物から得られる自然の恵みに支えられていますが、これら「自然資本」は、開発や過剰な利用により失われつつあるのが現状です。当グループは、業務や社会貢献活動を通じ、自然資本の保全に貢献しています。

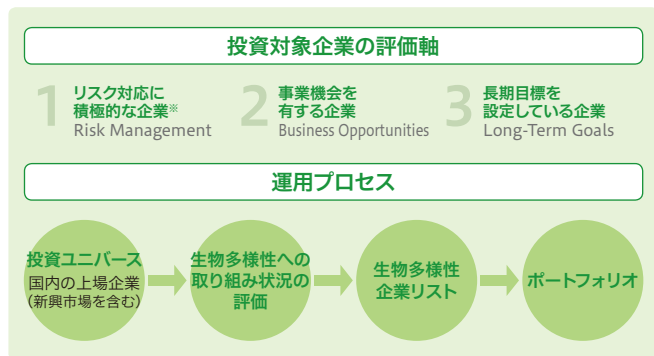


世界最先端の商品開発

生物多様性企業応援ファンド

生物多様性とは、地球上に生息する「多種多様な生きもの」とそれらの「つながり」のことです。「生物多様性企業応援ファンド」は、生物多様性の保全と持続可能な利用に積極的に取り組む日本企業の株式に投資し、ファミリーファンド方式で運用を行います。マザーファンドの運用にあたっては、三井住友信託銀行が投資助言を行います。

生物多様性に着目したファンドは、欧米でもあまり例がなく、先進的な取り組みとして海外から注目を集めています。



※ リスク対応度を測る基準として、企業のマテリアルバランス報告に着眼し、エネルギー、水、廃棄物と売上高との関係をもとに自然資本効率性 (Natural Capital Efficiency Index) を活用。

(運用会社: 三井住友トラスト・アセットマネジメント)

自然資本評価型環境格付融資

企業が事業を継続するためには、資源としての自然資本の持続可能な利用が重要です。

三井住友信託銀行は、2013年4月、企業の環境に対する取り組みを評価する環境格付の評価プロセスに、自然資本に対する影響や、取り組みを評価する考え方を組み込んだ「自然資本評価型環境格付融資」を開始しました。自然資本の評価を融資基準に組み入れるという取り組みは、世界初の試みです。



(注) 三つの指標の計測はプライスウォーターハウスクーパース サステナビリティ株式会社が行います。



ナショナルトラストで自然資本を守る

アミノクロウサギ・トラスト・キャンペーン

奄美大島には、特別天然記念物アミノクロウサギやリリカケスをはじめ、多くの希少な生きものがすむ森があります。

公益社団法人 日本ナショナル・トラスト協会は、この国内有数の豊かな森を乱開発から守るため、市民や企業の皆さまに呼びかけて、約100ヘクタールの森を買い取る資金を、全国から募るキャンペーンを実施しました。三井住友信託銀行の鹿児島支店は、このキャンペーンに参加し、土地の買い取りを支援しました。



ESD「持続可能な開発のための教育」

教育の場において、社会や暮らしのあり方を変革していく学びの機会をESD(Education for Sustainable Development)といえます。三井住友信託銀行では、小学校において、ICT(テレビ動画等)も活用しながら近隣のナショナル・トラストの活動を次世代を担う子供たちに教える取り組みを継続的に行っています。



集水域生態系が広がる神奈川県三浦市・小網代の森



専門家(慶應義塾大学岸由二名誉教授)へのインタビュー



森の中に生息するアカテガニ



ICTを活用した学校での授業(三浦市立岬陽小学校)

リーダーとしての取り組み

自然資本宣言——国内で唯一の署名金融機関です。

三井住友トラスト・ホールディングスは、2012年6月にリオデジャネイロで開催された「国連持続可能な開発会議(リオ+20)」において国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)が提唱した「自然資本宣言(The Natural Capital Declaration)」に署名しました。三井住友トラスト・ホールディングスは国内で唯一の署名金融機関です。



「生態系と生物多様性の経済学」(TEEB)の翻訳

三井住友信託銀行は、2008年に「生態系と生物多様性の経済学」(TEEB)の中間報告書の翻訳を主導し、日本語版を出版しました。この翻訳は、その後日本において生物多様性の議論が活性化することに大きな役割を果たしました。



「ビジネスと生物多様性イニシアティブ」リーダーシップ宣言に署名

当グループは、2008年5月にドイツで開催された生物多様性条約第9回締約国会議において、ドイツ政府の主導による「ビジネスと生物多様性イニシアティブ」に賛同し、世界の33社とともにリーダーシップ宣言に署名しました。以来、世界のリーダー企業の一員として、生物多様性問題に積極的に取り組んでいます。



自然資本研究会

三井住友信託銀行は、自然資本の維持、保全、持続可能な利用の取り組みを推進するためには、その経済的評価の知見を積み重ねることが急務であると考え、公益財団法人 トラスト60の助成を受け、2013年4月に学識経験者、NGO、行政、企業等が参画する自然資本研究会(委員長 鎗目 雅 東京大学公共政策大学院特任准教授)を立ち上げました。